

EU Indicators

発表日: 2023年6月30日(金)

欧州経済指標コメント: 6月ユーロ圏消費者物価

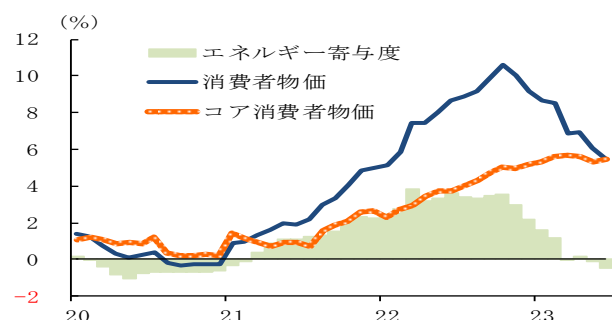
～ドイツの旅行支援の反動でコアが再加速～

第一生命経済研究所 経済調査部

首席エコノミスト 田中 理 (TEL: 03-5221-4527)

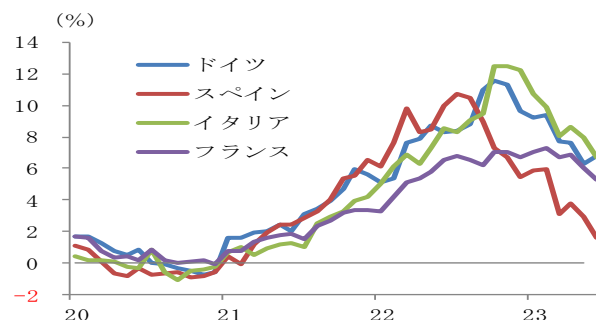
- 6月のユーロ圏の消費者物価の速報値は前年比+5.5%と、前月の同+6.1%から上昇率が鈍化。変動の大きいエネルギー・食料・アルコール飲料・たばこを除いたコア物価が前月: 同+5.3% → 今月: 同+5.4%に小幅加速したものの、エネルギー（同▲1.8% → 同▲5.6%）の下落率が加速したほか、エネルギー価格の上昇剥落後も物価を押し上げてきた食料・アルコール飲料・たばこ（同+12.5% → 同+11.7%）の上昇率がやや鈍化した。
- コア物価は3月の同+5.7%をピークに鈍化傾向にあるものの、昨年夏場にドイツでコロナ後の旅行支援の一環で公共交通料金の大幅値下げ（一律9ユーロで乗り放題）が行われた反動もあり、上昇率が小幅加速した。コア物価の内訳は、エネルギーを除く工業製品の上昇率が同+5.8% → 同+5.5%に鈍化した一方、サービス価格の上昇率が同+5.0% → 同+5.4%に加速した。ドイツの特殊要因が剥落する9月以降に、コア物価の上昇率鈍化が一段と進む公算が大きい。
- 国別の消費者物価（EU統一基準）は、ドイツで前述の公共交通料金の反動で同+6.3% → 同+6.8%に上昇率が再加速した一方、フランス（同+6.0% → 同+5.3%）、イタリア（同+8.0% → 同+6.7%）、スペイン（同+2.9% → 同+1.6%）で上昇率が鈍化した。全般にエネルギー価格の押し上げ剥落がヘッドラインの上昇率鈍化につながっているものの、エネルギー価格のサイクルが異なるスペインについては、年後半にかけて上昇率が再加速する可能性がある。

■ユーロ圏: 消費者物価（前年比）



注: コア物価は食料・たばこ・アルコール・エネルギーを除く
出所: Eurostat

■ユーロ圏: 主要国の消費者物価（統一基準、前年比）



出所: Eurostat

■ユーロ圏の消費者物価 (%)

	2022				2023				2023											
	3Q	4Q	1Q	2Q	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月					
消費者物価 (前期比)	2.2	2.3	0.9	-	0.6	1.1	1.4	0.2	-0.4	0.6	0.6	0.3	0.2	-0.0	-					
(前年比)	9.3	10.0	8.0	6.2	9.1	9.9	10.6	10.1	9.2	8.6	8.5	6.9	7.0	6.1	5.5					
コア消費者物価 (前年比)	4.4	5.1	5.5	5.5	4.3	4.8	5.0	5.0	5.2	5.3	5.6	5.7	5.6	5.3	5.4					
食料/アルコール/たばこ (前年比)	10.7	13.5	14.9	12.5	10.6	11.8	13.1	13.6	13.8	14.1	15.0	15.5	13.5	12.5	11.7					
食料 (前年比)	12.5	15.8	17.0	-	12.4	13.8	15.5	16.0	16.0	16.3	17.3	17.5	15.0	13.7	-					
アルコール (前年比)	5.3	7.0	8.5	-	5.3	6.0	6.6	6.9	7.4	7.6	8.5	9.3	9.5	9.2	-					
たばこ (前年比)	2.6	2.9	4.7	-	2.7	2.6	2.4	2.8	3.5	4.0	4.2	5.8	6.2	6.3	-					
エネルギー (前年比)	39.7	33.9	10.0	-1.8	38.6	40.7	41.5	34.9	25.5	18.9	13.7	-0.9	2.3	-1.8	-5.6					

注: 消費者物価の前期比は季節調整後。コア消費者物価は食料・アルコール・たばこ・エネルギーを除く。出所: Eurostat

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。